

# CADPAC-CIVIL Ver.11 新機能

## 1. 図面タイトルバー

ウィンドウのタイトルバーに、DB 番号が表示されるようになりました。  
DB 番号とは、本システムに展開されている図面を順番に番号をつけたものです。

DB 番号の一覧は、図面ウィンドウのタイトルバーを右クリックすると、ポップアップメニューで表示されます。

DB 番号は覚えておくと、[DB 番号 + PageDown] でアクティブ図面をワンタッチで切り替えることができるので便利です。

DB 番号は数字のみ表示します。半角空白をはさみ図面の表題が表示されます。

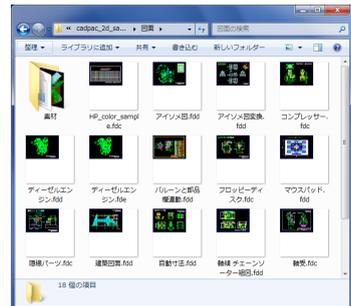
[基本操作 1/ 図面タイトルバー]



## 2. エクスプローラ拡張

エクスプローラ拡張が Windows7 に対応しました。

[基本操作 1/ エクスプローラ拡張]



## 3. ニュートラルモード

枠で囲った要素を選択した場合、移動や複写、削除、線円スタイルなどの編集系コマンドが起動できるようになりました。

単要素で要素を選択した場合、その要素が作図されたコマンド（オブジェクトコマンド）、該当コマンドの編集系コマンドが起動します。

[基本操作 2/ ニュートラルモードのコマンド起動]

#### 4. 文字スタイル 線スタイル

設定ダイアログを一新しました。

また、CADPAC 起動時のスタイルを指定できるようになりました。

[基本操作 4/ 線スタイル / スタイル設定]

[基本操作 4/ 文字スタイル / 機能と操作]



線スタイル設定ダイアログ



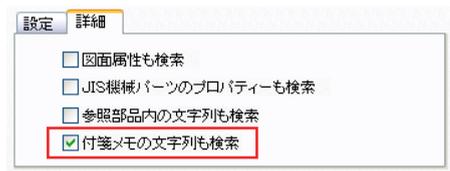
文字スタイル設定ダイアログ

#### 5. 図面文字列検索

図面文字列検索が付箋メモの文字列に対応しました。詳細タブに「付箋メモの文字列も検索」チェックが追加されています。

※図面付箋のみが対象となります。システム付箋は対象なりません。

[ファイル / 図面文字列検索]



#### 6. DXF・DWG 入出力

AutoCAD2012 に対応しました。

[ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

#### 7. DXF・DWG 出力

図面のレイヤー名に、DXF・DWG のレイヤー（画層）名として使用できない禁止文字が含まれていた場合、自動的に「-（ハイフン）」に置換して出力する処理を加えました。

DXF・DWG のレイヤー（画層）名として使用できない禁止文字は以下の13文字です。

「>」「<」「/」「¥」「”」「:」「;」「?」「\*」「|」「,」「=」「`」

[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

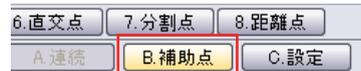
## 8. SXF 出力

図面上の補助点要素を除外して出力できるようになりました。  
[ファイル / 外部出力 / SXF出力]



## 9. 点

点コマンドで補助点要素を作図できるようになりました。  
CSB に [B. 補助点] が追加されています。  
[作図 / 点]



## 10. オフセット

[5. 単要素] で要素を指定したとき、重複要素がない場合に [Y/N] 確認ボックスによる要素選択確認が省かれるようになりました。  
[作図 / 面処理 / オフセット]

## 11. 表作成

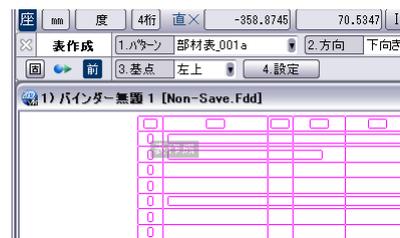
表作成は、Excel のテキストデータを取り込んで、あらかじめ設定された作表パラメータにより、表を作図する新コマンドです。会社で使用される定型的なフォームの作表に便利です。設定で 1 行の高さ、項目別の幅、文字スタイル、表枠の線スタイル、並び順 (上から / 下から) など、細かなパラメータを指定できます。

[作図 / 定型 / 表作成]

A	B	C	D
1	番号	品名	材質 個数
2	1	カッターボディ	S45C 1
3	2	チェンジギヤ	S45C 1
4	3	キャリヤギヤ-A	S45C 1
5	4	キャリヤギヤ-AA	S45C 1
6	5	下部スタット	S45C 1

作表する Excel のファイルを開き、作表部分をドラッグしてコピーする。

表作成コマンドを起動



作表用の設定を呼び出し、図面に配置する。

## 12. 半角全角変換

全角から半角への変換が可能になりました。変換の対象にする文字種を細かに選択することができます。

[ 作図 / 文字編集 / 半角全角変換 ]



## 13. 部分図へ

部分図へは、元図と部分図間の編集を可能にする割り込み機能です。本機能により、元図と部分図間での編集機能（移動・複製など）が可能になります。

コマンド実行中、本機能によって部分図編集ウィンドウを割り込み起動させたり、部分図編集集中に複製先を元図へ指定ができます。

[ 構成 / SXF / 部分図へ ]

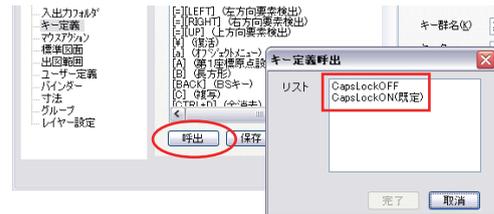
## 14. システム設定・キー定義

ダイレクトキーの設定を保存・呼出できるようになりました。規定値リストには以下の2種類があります。

CapsLock OFF : 小文字主体

CapsLock ON (既定) : 大文字主体

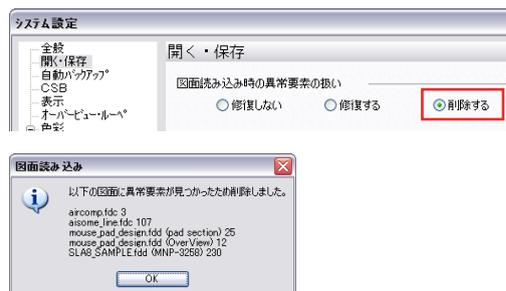
[ 補助 / システム設定 / キー定義 ]



## 15. システム設定・開く

「図面読み込み時の異常要素の扱い」に「削除する」が追加されました。

[ 補助 / システム設定 / 開く・保存 ]



## 16. システム設定・色彩

検出された領域のハイライト色を指定できるようになりました。

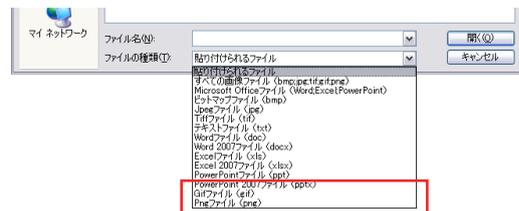
[ 補助 / システム設定 / 色彩 ]



## 17. データ貼付

「gif」「png」形式の画像が新たに貼り付けられるようになりました。

[ 専用 / 外部データ貼付 / データ貼付 ]



## 電子納品支援オプション

## 1. 電子納品支援

最新の CAD 製図基準「土木 200805-01」に対応しました。

[ オプション / 土木系 / 電子納品支援 ]

## 廃止された機能

## 1. スキャナ入力

カラーラスタのコマンド、「スキャナ入力」が廃止されました。

## 2. ラスター / ベクター変換

カラーラスタライの機能「ラスタ / ベクター変換」が廃止されました。